

2021 年度第 2 回広島県インストラクタートレセン実施報告

広島県 天川充弘

1 期日 2021 年 8 月 2 2 日（日） 09:00～17:00

2 場所 広島国際学院高校（安芸郡海田町曾田）

3 参加者

マネージャー 天川充弘

受講生 東泰雄(SI2), 下田浩城(SI3), 佐伯育信(SI2), 柿本大吾(SI3), 藤内一寿(SI3)

オブザーバー 勝山正比呂 県委員長, 倉橋健二 県アカデミーマスター

4 内容

(AM) 「5 分間セッション」「チュータリング」 講義, 実践

①講義 セッション及びチュータリングの進め方と内容すり合わせ

②実践

〔対象：県アカデミー生 矢島, 蔵本。上瀬, 藤岡, 足立 〕

(5 分間セッション)

佐伯：暴力的ではないが不適切な行為とは

東：アデイショナルタイム及びプレーイングタイムとは

下田：言葉による反則とは

藤内：ゴールキックにおける意図的なトリックとは

柿本：第 3 条の暫定的改正の延長とは

(チュータリング)

佐伯：ハンドの反則について

→要競技規則改正の話題に絞り込む工夫

東：戦術的ファウルについて

→要 SPA との違い他, 考慮点に絞り込むよう工夫

下田：プレーが途切れた時の飲水への対応について

→シチュエーション設定は, 残り 3 分, 1 点差で勝っているチームが C K 前に
ゆっくり飲水



佐伯 INS によるチューターリング



下田 INS によるチューターリング

(PM) レフェリング, アセスメント指導実践

- ① 13:00 KO U18 リーグ 主審 上瀬
- ② 15:00 KO ルーキーリーグ 主審 足立

上記2試合のアセスメントを実践

- ① の振り返りを東 INS が担当
- ② の振り返りを佐伯 INS が担当

5 感想

本来計画していた平和祈念 U-12 大会が数日前キャンセルとなり、急遽、日程及び内容を変更した。

事前課題に沿って、全員が5分間セッションに取り組み、合せて昨年度から参加の3名はチューターリングを実践。

実践対象(県アカデミー生5名)の積極的な取り組みを得て経験を積むことができた。

一方で、5分間セッション、チューターリングとも全員の実践には、時間管理、場の設定、要点の絞り込みといった点に工夫が必要と指摘せざるを得ないものの、特に佐伯 INS、下田 INS の柔らかな口調やロジカルな説明、準備期間の少ない中でのローテク製作には目を見張るものがあった。

レフェリング指導では、ゲーム自体、高校生同士の相当にフェアなものであったことから、悪いことではないが動きとポジショニングの話が中心となった。

判定やマネジメントにも言及出来る場面を想定するとなれば、ある程度はタフなゲームを用意する必要がある。

6 今後の課題

- ・チューターリングのほか、IT やフィジカルの座学の機会を増やしていく必要がある。
- ・参加者においては、コロナ禍を前提に集合型では参加不能という場合も多く、イントレ

開催のタイミングに苦慮しているが、参加しやすい内容や日時を設定を行いたい。

- ・地域イントレと違い、人によって参加不参加のバラツキがあり、進捗調整が難しい。

以上